# 秋草蝶鳥鏡　一面

【所　在　地】薩摩川内市宮内町 1935 － 2　新田神社
【種　　別】国指定有形文化財（工芸品）
【指定年月日】昭和 28 年 11 月 14 日

径 20.0cm，縁厚 0.46cm，胎厚 0.09cm，重さ 500g である。

土坡（土の堤）から生えた秋草＝萩が鏡面いっぱいに広がり，その陰に女郎花と桔梗を配している。左上部には圏をはさんで２羽の鳥が向き合い，外区に蝶を２羽配している。

下部には土坡と波文を描き，全面を１つの風景画としている。藤原鏡の様式をよく示し鎌倉後期ないし南北朝初期の作と推定される。